

岡本ゼミについての 説明資料

平成23年6月20日(月)

政策学部 岡本由美子

(研究室:溪水館229号室)

(<http://www1.doshisha.ac.jp/~yokamoto/>)

1. 岡本由美子の現在の主要な 教育・研究・社会貢献活動

研究活動

民間学術奨励金助成による研究遂行(平成23年-24年度)。

研究題目

[新しい「イノベーション・システム論」構築に向けた実証研究－再生医療分野における日米英企業の比較研究を中心として]

教育・研究と社会貢献活動

①教育と社会貢献活動との連携

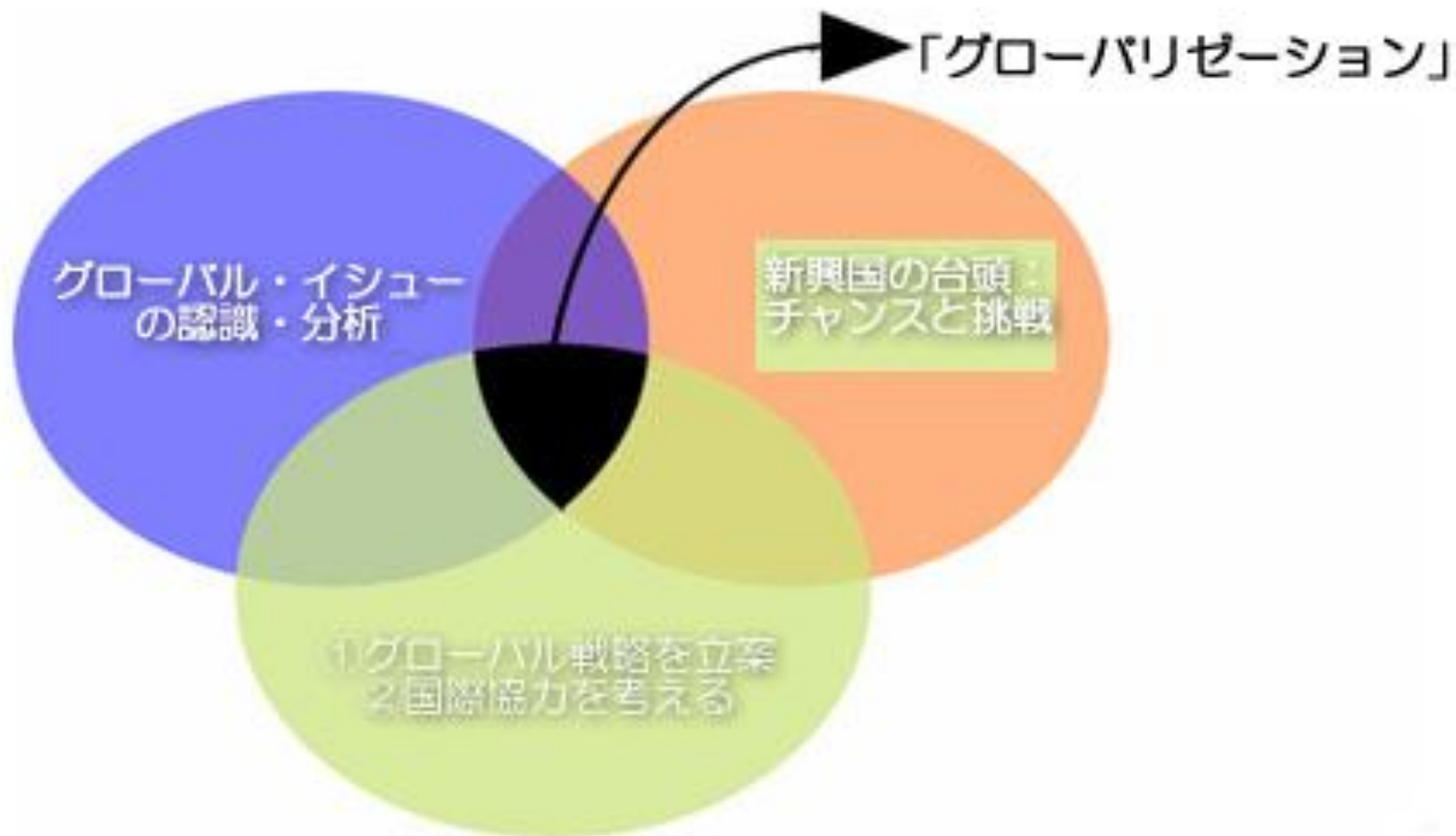
MJET (http://www.mjet-tokyo.com/o2_mjetno.html)

(NGO)と連携して、途上国植林活動、国際交流、ゼミのフィールドワークを行う。

②研究と社会貢献活動との連携

APEC研究センター・ジャパンの一員として、アジア太平洋地域の経済協力を考え、今年9月にサンフランシスコで行われる国際会議に出席をし、成果を発表。

2. 岡本ゼミのコンセプト



3. 演習をどのように行うか。 (詳細は、ゼミ内で決定)

共通*テーマ

(H22、H23の例。変更の可能性あり)

演習I 「世界は今?」「社会科学

入門:情報の収集と解析」

演習II 「人間の安全保障」

演習III 「新興国の台頭:

チャンスと挑戦」

卒業演習I(仮) 「日本のグローバル戦略を考える①」

卒業演習II(仮) 「日本のグローバル戦略を考える②」

演習の運営方法

- ① 各演習とも、3部構成。
(共通*、グループ、個別学習)
- ② 3年次(演習II、III)、各グループでプロジェクトを立ち上げ、リサーチペーパーを執筆&対外活動への参画。
- ③ その他(合宿、ゲストスピーカー招聘、ビジネスモデル構築、フィールド・ワーク)。
- ④ ゼミ内での役割分担の決定。

4. H23度のプロジェクト例

日本の対外経済政策

- ① TPPへの参画の是非
(アジア太平洋地域の経済協力について考える)
- ② 日本のODA予算削減は問題か否か(新しい国際協力の在り方を考える)

国際協力プロジェクトの企画・立案

- ① ミャンマーでの植林活動、フィールドワークを通して、環境・貧困問題削減のための具体的なプロジェクトの企画・立案
- ② 識字率向上のために有効な手法の企画・提案

5. 求める学生像

こんな学生を求めます！

- ① 自主・独立
- ② Public mindを持っている学生(ゼミでは、緩やかな連携を目指します)
- ③ 新たなものを作り上げていこうという意欲を持っている学生

選考基準

演習I登録申込書

- ① 志望動機がしっかりしているか
- ② ゼミコンセプトやゼミ内容との整合性
- ③ 論理性

面接

- ① やる気・好奇心
- ② コミュニケーション能力